



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月1日

上場会社名 トピー工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 7231 URL <http://www.topv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高松 信彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 立花 修一 TEL 03-3493-0777  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	137,196	1.5	2,325	△30.6	1,552	△54.1	858	△61.8
2019年3月期第2四半期	135,173	26.1	3,348	△7.1	3,381	△15.5	2,245	△18.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 999百万円 (△58.5%) 2019年3月期第2四半期 2,406百万円 (△42.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	36.52	—
2019年3月期第2四半期	95.60	—

(注) 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	269,559	111,676	41.0	4,708.86
2019年3月期	284,198	112,362	39.2	4,737.26

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 110,633百万円 2019年3月期 111,304百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	70.00	90.00
2020年3月期	—	40.00			
2020年3月期（予想）			—	20.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△5.7	6,500	△13.4	7,000	△25.2	4,500	△36.7	191.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	24,077,510株	2019年3月期	24,077,510株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	582,676株	2019年3月期	582,007株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	23,495,180株	2019年3月期2Q	23,486,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料及び動画については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気拡大が続いたものの、米中貿易摩擦の激化やその影響を受けた中国の景気減速等により、不透明感が強まりました。わが国経済は、雇用・所得環境の改善は続いたものの、輸出や生産に弱さがみられました。

このような状況下、当社グループは、「グローバルでの“成長”」と「高収益体質への“変革”」を目指した一連の中期経営計画の最終ステージとなる「Growth & Change 2021」を本年度よりスタートし、①収益力の向上、②グループシナジーの発現、③戦略製品の拡充、④イノベーションへの挑戦、⑤さらなる企業基盤の強化、を重点テーマとして取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、アルミホイールメーカーの旭テック株式会社の新規連結効果があり、売上高は137,196百万円（前年同期比1.5%増）となりました。しかしながら、メタルスプレッドの改善や新規連結効果等の増益影響があったものの、建設機械用足回り部品の販売数量減少の減益影響が大きく、営業利益は2,325百万円（前年同期比30.6%減）、経常利益は1,552百万円（前年同期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は858百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

## 【セグメントの業績】

## (鉄鋼事業)

電炉業界においては、建設向け及び製造業向けともに鋼材需要が減少しました。また、副資材やエネルギー価格は高値で推移したものの、主原料である鉄スクラップ価格は下落しました。

このような環境の中、当社グループは、販売数量の減少等により、売上高は36,975百万円（前年同期比9.8%減）となりました。しかしながら、販売価格の維持に努め鉄スクラップ価格との値差が拡大するとともに、継続的なコスト改善に取り組んだ結果、営業利益は2,139百万円（前年同期比65.0%増）となりました。

## (自動車・産業機械部品事業)

自動車業界においては、国内生産台数が前年同期比で増加しましたが、北米や中国では生産台数が減少しました。建設機械業界においては、中国や東南アジア等で日系メーカーの油圧ショベルの販売量が減少し、在庫調整の動きもみられました。また、資源価格の下落により、東南アジア等で鉱山機械需要が減少しました。

このような環境の中、当社グループは、建設機械用足回り部品や鉱山機械用ホイール等の販売数量が減少したものの、アルミホイールメーカーの旭テック株式会社の新規連結効果があり、売上高は92,264百万円（前年同期比7.5%増）となりました。しかしながら、建設機械用足回り部品の販売数量の減少が大きく影響し、営業利益は1,993百万円（前年同期比45.6%減）となりました。

## (発電事業)

事業計画に沿って安定した電力供給に努めてまいりました。国内電力需要の減少や電力市場での価格競争激化等を背景とした厳しい経営環境の中、売上高は4,609百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は129百万円（前年同期比64.9%減）となりました。

## (その他)

化粧品等に使われる合成マイカについて、増強した設備の量産開始に向けた準備を進めるとともに、国内外の販売拡大に努めました。また、クローラーロボットについては、前後左右移動型クローラー機構の本格販売体制の整備を進めました。売上高は3,346百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は合成マイカの先行投資による費用増加等により、603百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、269,559百万円となり、前連結会計年度末比14,639百万円の減少となりました。主に受取手形及び売掛金の減少8,642百万円、現金及び預金の減少7,044百万円によるものです。

負債合計につきましては、157,882百万円となり、前連結会計年度末比13,953百万円の減少となりました。主に電子記録債務の減少6,490百万円、支払手形及び買掛金の減少5,091百万円によるものです。

純資産合計につきましては、111,676百万円となり、前連結会計年度末比685百万円の減少となりました。主に利益剰余金の減少790百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や、中国の成長鈍化等により景気減速懸念が続くと予想されます。わが国経済につきましても、外需の減退が継続する等、世界経済の影響による景気の減速が懸念されるため、当社グループを取り巻く事業環境は予断を許さない状況が継続するものと思われま

す。通期の連結業績見直しにつきましては、2019年5月10日に公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想について見直しを行い、売上高270,000百万円、営業利益6,500百万円、経常利益7,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,500百万円を見込んでおります。詳細につきましては、本日発表の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,671	22,626
受取手形及び売掛金	59,818	51,175
商品及び製品	22,327	23,194
仕掛品	7,413	6,906
原材料及び貯蔵品	15,169	14,362
その他	7,417	6,867
貸倒引当金	△66	△62
流動資産合計	141,751	125,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	93,166	93,976
減価償却累計額	△62,636	△63,608
建物及び構築物(純額)	30,530	30,367
機械装置及び運搬具	204,197	207,377
減価償却累計額	△157,286	△160,128
機械装置及び運搬具(純額)	46,911	47,249
土地	15,287	15,363
リース資産	5,089	5,072
減価償却累計額	△3,290	△3,366
リース資産(純額)	1,799	1,706
建設仮勘定	3,696	4,820
その他	42,392	42,912
減価償却累計額	△40,630	△40,944
その他(純額)	1,761	1,968
有形固定資産合計	99,986	101,474
無形固定資産		
その他	5,160	4,883
無形固定資産合計	5,160	4,883
投資その他の資産		
投資有価証券	27,093	28,137
長期貸付金	478	486
繰延税金資産	2,340	2,122
退職給付に係る資産	345	345
その他	7,100	7,087
貸倒引当金	△58	△48
投資その他の資産合計	37,300	38,130
固定資産合計	142,447	144,487
資産合計	284,198	269,559

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,880	26,789
電子記録債務	20,268	13,778
短期借入金	19,414	15,393
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
リース債務	878	709
未払法人税等	2,170	699
その他	18,293	16,436
流動負債合計	97,907	78,806
固定負債		
社債	22,800	27,800
長期借入金	32,461	32,684
リース債務	888	614
繰延税金負債	1,093	1,092
執行役員退職慰労引当金	162	197
役員株式給付引当金	21	39
役員退職慰労引当金	41	39
定期修繕引当金	371	235
退職給付に係る負債	12,617	12,931
資産除去債務	373	368
その他	3,096	3,073
固定負債合計	73,929	79,075
負債合計	171,836	157,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,983	20,983
資本剰余金	18,606	18,606
利益剰余金	68,532	67,742
自己株式	△1,708	△1,710
株主資本合計	106,413	105,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,284	6,916
繰延ヘッジ損益	△5	△3
為替換算調整勘定	△1,023	△1,492
退職給付に係る調整累計額	△365	△408
その他の包括利益累計額合計	4,890	5,012
非支配株主持分	1,057	1,042
純資産合計	112,362	111,676
負債純資産合計	284,198	269,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	135,173	137,196
売上原価	114,809	117,927
売上総利益	20,363	19,268
販売費及び一般管理費	17,015	16,943
営業利益	3,348	2,325
営業外収益		
受取利息	48	39
受取配当金	382	385
為替差益	23	—
持分法による投資利益	153	270
その他	189	210
営業外収益合計	796	905
営業外費用		
支払利息	324	313
為替差損	—	490
その他	439	875
営業外費用合計	763	1,678
経常利益	3,381	1,552
特別利益		
固定資産売却益	3	15
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	3	15
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	138	108
その他	0	1
特別損失合計	142	109
税金等調整前四半期純利益	3,242	1,457
法人税等	926	578
四半期純利益	2,316	879
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,245	858



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,316	879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	795	647
繰延ヘッジ損益	13	1
為替換算調整勘定	△718	△345
退職給付に係る調整額	40	△43
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	△140
その他の包括利益合計	90	119
四半期包括利益	2,406	999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,384	979
非支配株主に係る四半期包括利益	21	19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。